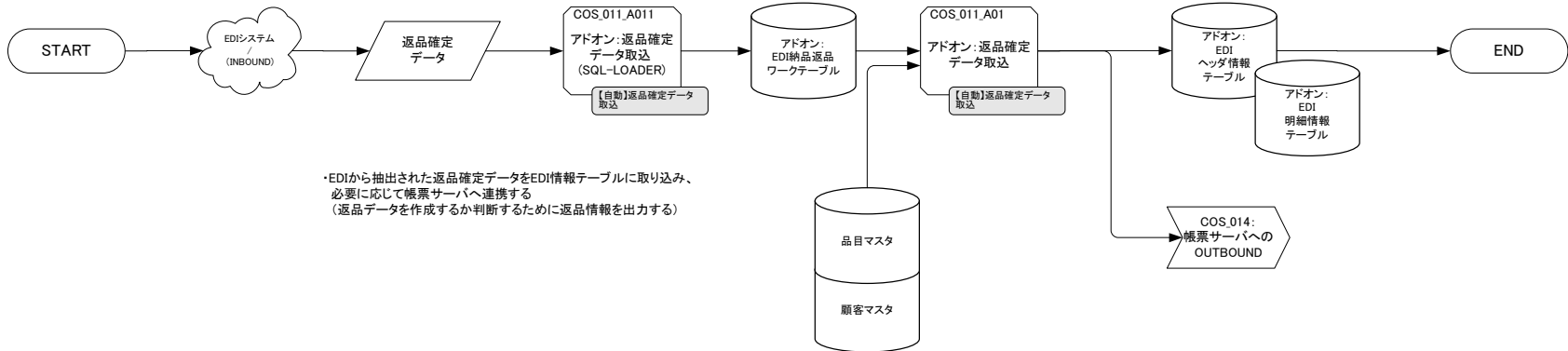


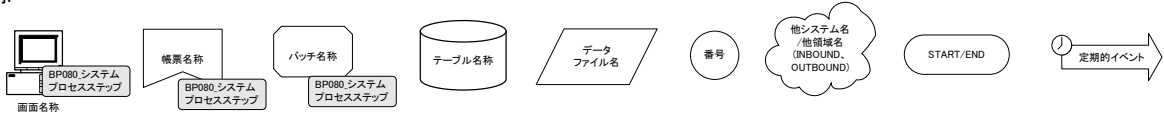
MD050_SPF_COS_011 EDIシステム連携	説明: EDIシステムと各種データを連携する (INBOUND、OUTBOUND)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中村	Ver.	
-----------------------------	---	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	--

処理概要
EDIシステムからファイル送信される返品確定データをEBSに取り込む
返品確定データの取込
・返品確定データ取込処理により、EDI情報テーブルに取り込む
システム利用者
拠点 内務担当者
処理タイミング、その他
返品確定データ取込処理は、起動時間を設定し定時実行する(実行間隔は30分から1時間を想定)

システムプロセス 記入時の注意事項
・機能単位(標準機能含む)で記入すること
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



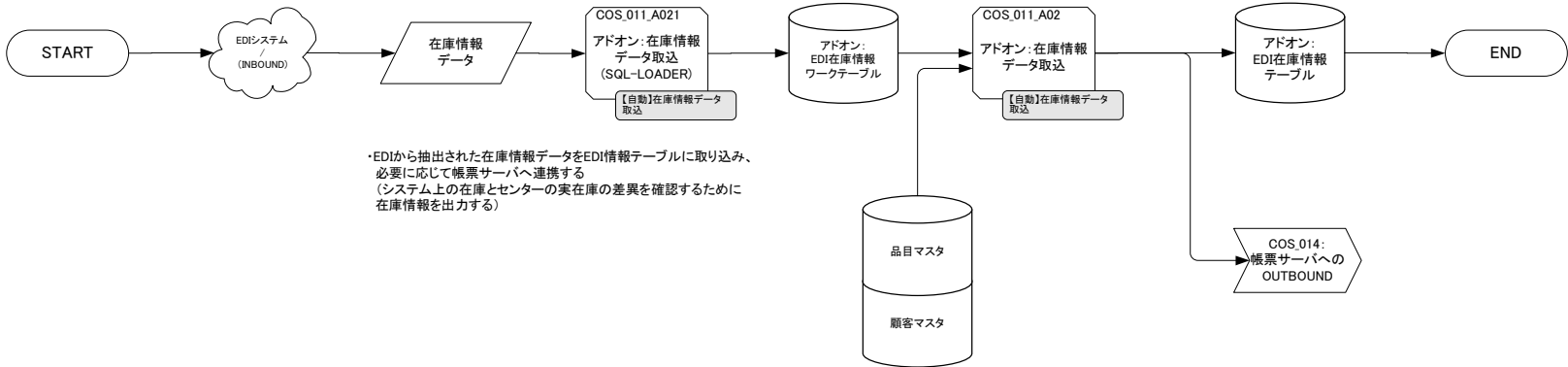
凡例:



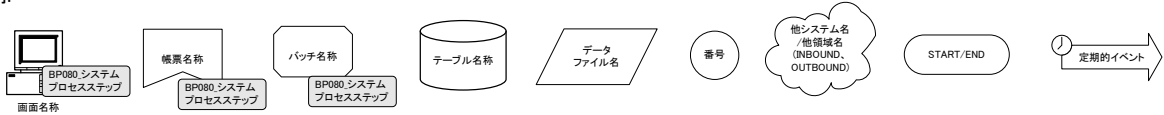
MD050_SPF_COS_011 EDIシステム連携	説明: EDIシステムと各種データを連携する (INBOUND、OUTBOUND)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中村	Ver.	
-----------------------------	---	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	--

処理概要
EDIシステムからファイル送信される在庫情報データをEBSに取り込む
在庫情報データの取込
・在庫情報データ取込処理により、EDI在庫情報テーブルに取り込む
システム利用者
拠点 内務担当者
処理タイミング、その他
在庫情報データ取込処理は、起動時間を設定し定時実行する(実行間隔は30分～1時間を想定)

システムプロセス 記入時の注意事項
・機能単位 (標準機能含む) で記入すること
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_011 EDIシステム連携	説明: EDIシステムと各種データを連携する (INBOUND、OUTBOUND)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中村	Ver.	
-----------------------------	---	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	--

処理概要

EDIシステム向けの納品予定データを作成する

納品予定データの作成

- ・納品予定更新画面より、対象となるデータの検索および更新を行い、EDIシステム向けの納品予定データを作成する

システム利用者

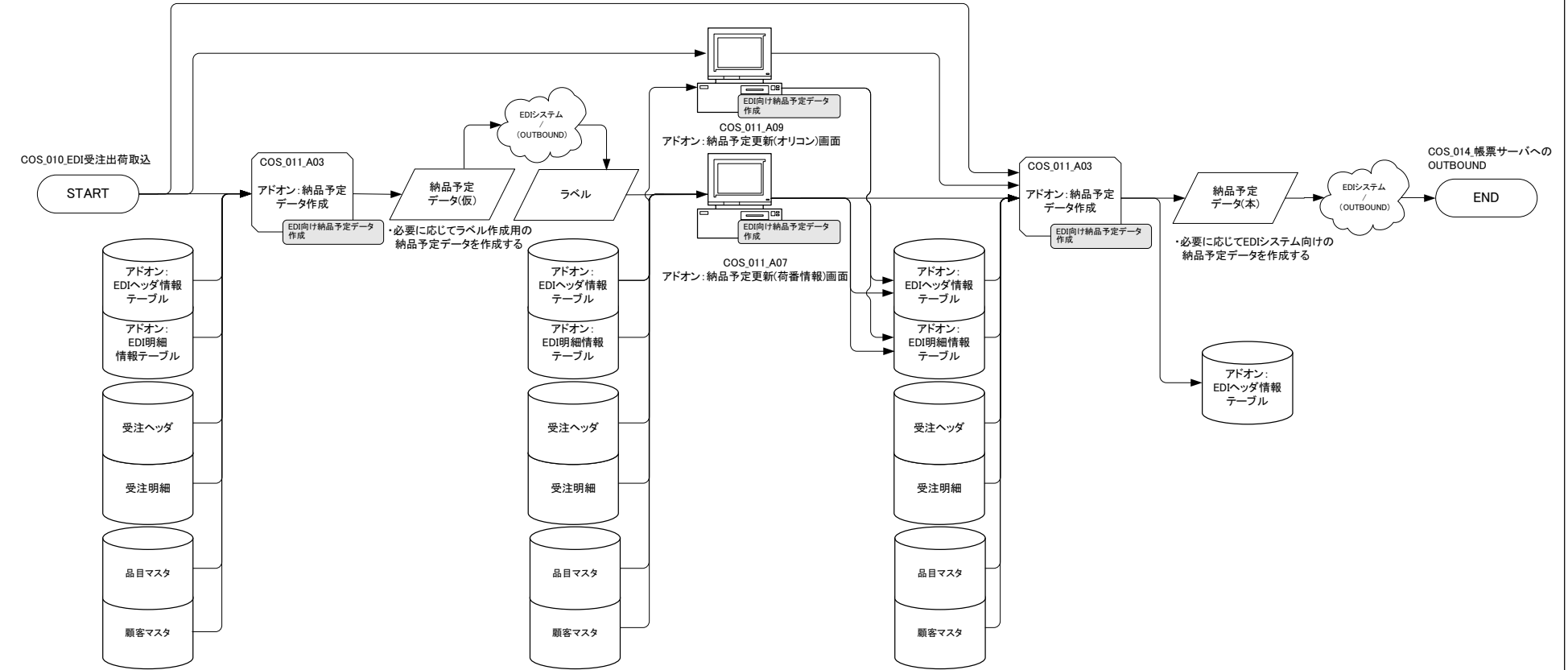
拠点 内務担当者

処理タイミング、その他

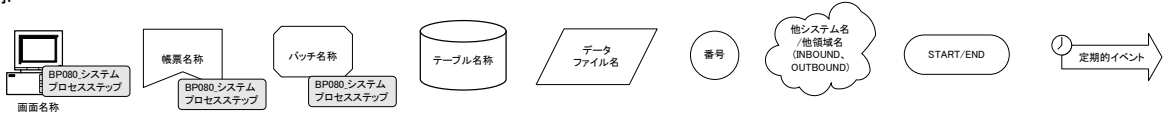
納品予定データは、出荷当日のピッキング作業終了後、必要に応じて作成する

システムプロセスフロー 記入時の注意事項

- ・機能単位 (標準機能含む) で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



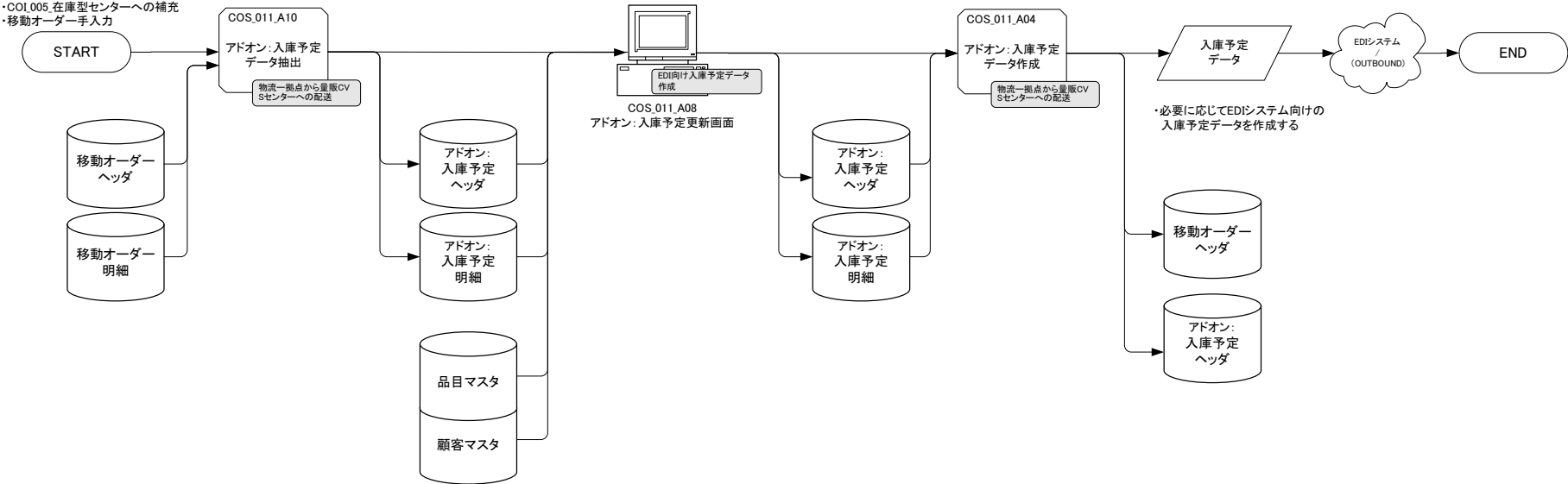
凡例:



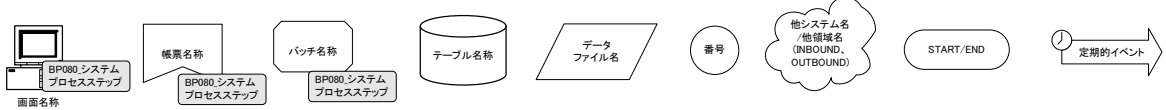
MD050_SPF_COS_011 EDIシステム連携	説明: EDIシステムと各種データを連携する (INBOUND、OUTBOUND)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中村	Ver.	
-----------------------------	---	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	--

処理概要
EDIシステム向けの入庫予定データを作成する
入庫予定データの作成
・入庫予定更新画面より、対象となるデータの検索および更新を行い、EDIシステム向けの入庫予定データを作成する
システム利用者
拠点 出荷確認担当者
処理タイミング、その他
入庫予定データの抽出タイミングは随時
入庫予定データの作成タイミングは随時

システムプロセスフロー 記入時の注意事項
・機能単位 (標準機能含む) で記入すること
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



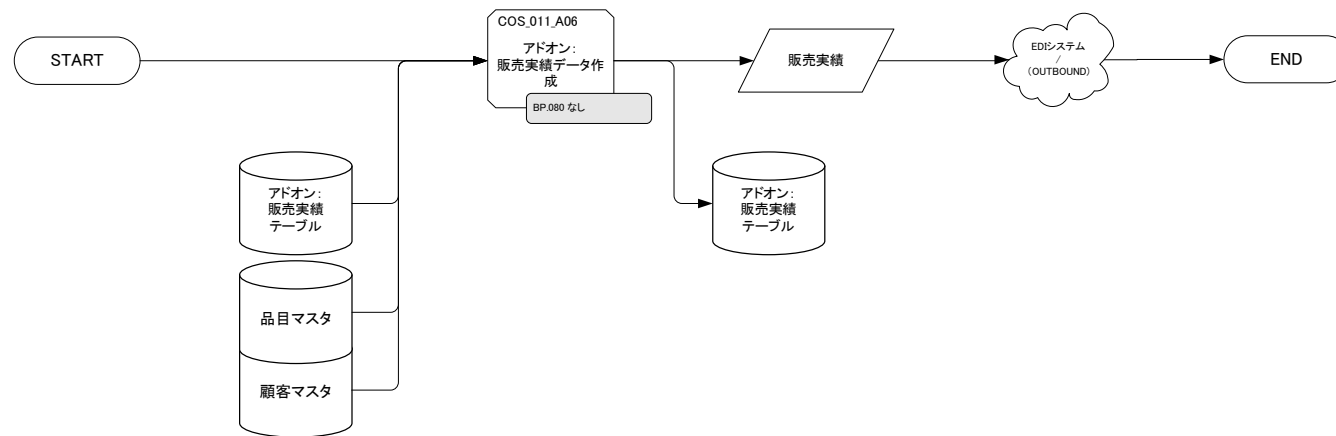
MD050_SPF_COS_011 EDIシステム連携	説明: EDIシステムと各種データを連携する (INBOUND、OUTBOUND)	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2009/03/13	更新者	SCS中村	Ver.	
-----------------------------	---	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	--

処理概要

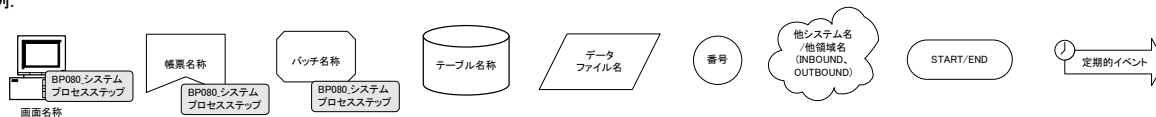
EDIシステム向けの販売実績を作成する
販売実績の作成
・販売実績作成処理により、EDIシステム向けの販売実績のデータファイルを作成する
システム利用者
拠点 内務担当者
処理タイミング、その他
販売実績の作成タイミングは日次(夜間定期実行)

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



処理概要

EDIシステム向けの個別商品販売実績を作成する

販売実績の作成

・個別商品販売実績EDIデータ作成処理により、EDIシステム向けの個別商品販売実績のデータファイルを作成する

システム利用者

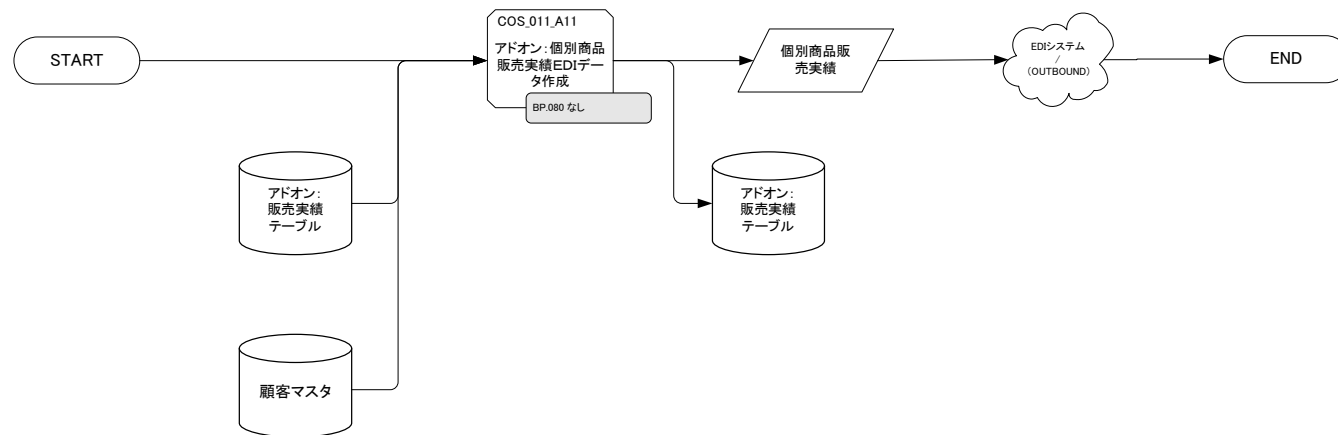
拠点 内務担当者

処理タイミング、その他

販売実績の作成タイミングは日次(夜間定期実行)

システムプロセスフロー 記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

